

Rotary Yoneyama Memorial Foundation

公益財団法人 ローター米山記念奨学会

2020 学年度 ロータリー米山記念奨学生募集要項

日本の大学・大学院在籍者対象

公益財団法人 ローター米山記念奨学会は

日本全国のロータリークラブ会員の寄付金を財源として
勉学、研究を志して日本に在留している外国人留学生に対し
奨学金を支給し支援する、民間最大の奨学団体です。

ロータリーとは

地域の人々の生活を改善したいという情熱をもって社会に役立つ活動に力を注いでいる、献身的な人々の世界的ネットワークです。異なる職業の人々が地域でロータリークラブという会合を持ち、職業を通して社会の発展と国際平和に貢献することを目的に活動している団体です。1905年アメリカ・シカゴで発足し、今では200以上の国と地域に広まり、クラブ数35,930、会員数1,224,128名(2019年4月11日RI公式発表)に成長しています。日本では1920年に、東京で初めてロータリークラブが設立されました。現在、日本ではクラブ数2,261、会員数88,912名(2019年3月末現在)に達しています。

I はじめに

1 目的

ロータリー米山記念奨学会（以下「米山奨学会」と表記）は、留学生の優れた学業の達成を支援し、同時にカウンセラーや世話クラブとの交流を通じ、ロータリー精神を学び、国際理解を深め日本と母国との懸け橋となるなど国際親善に尽くす人材を育てることを目的としています。そのため求められる奨学生の資質は「①学業」、「②異文化理解」、および「③コミュニケーション能力」における熱意や優秀性にあります。

ロータリー米山記念奨学生（以下「米山奨学生」と表記）は、ロータリークラブを通して日本の文化、習慣などに触れ、社会参加と社会貢献の意識を育て、将来ロータリーの理想とする国際平和の創造と維持に貢献する人となることが期待されます。

- | | |
|--------------|--|
| ①学業 | 学問に対する研究の目的・目標を明確にし、研鑽を重ねてその成果をあげる努力をする。 |
| ②異文化理解 | 異なる言語・文化・習慣などを理解する努力をする。 |
| ③コミュニケーション能力 | 人間関係における円滑なコミュニケーションを築き、自己の確立と共に他者を受入れる柔軟な姿勢をもつ。 |

2 特長

奨学金による支援だけでなく、ロータリークラブによる世話クラブとカウンセラー制度があります。米山奨学生は、世話クラブの例会（会合）に毎月1回以上出席し、カウンセラーやロータリークラブ会員（以下「ロータリアン」と表記）との心のふれあいを通して真の国際・文化交流および相互理解を深め、ロータリーの奉仕の心を共に学びます。

3 ロータリー米山記念奨学生の義務

1. 米山奨学生は、世話クラブであるロータリークラブの例会へ毎月1回以上出席します。
2. 年2回、奨学生レポートを当会に提出します。
3. 例会での卓話(スピーチ)を行い、世話クラブおよびロータリー地区の活動に積極的に参加するなど、ロータリアンとの交流を通して相互理解を深める努力をします。

4 奨学期間終了後も続くネットワーク(学友会活動)

米山奨学生の期間終了後も学友会活動を通して学友(元米山奨学生)同士のネットワークを広げ、ロータリークラブあるいはロータリー組織と連携した活動に参加することができます。

ロータリー米山記念奨学会学友会(元米山奨学生同窓会)は日本国内に33団体、海外では台湾、韓国、中国、タイ、ネパール、モンゴル、スリランカ、マレーシア、ミャンマーの9団体、計42団体あります。

Ⅱ ローターリー米山記念奨学会の誕生とその歴史

1 9万人のロータリアンが支援

ロータリアン米山記念奨学事業（以下「米山奨学事業」と表記）は、日本最初のロータリークラブの創立に貢献した実業家、米山梅吉氏の功績を記念して発足しました。1952年に東京ロータリークラブで始められたこの事業は、やがて日本の全クラブの共同事業に発展し、1967年、文部省（現在の文部科学省）の許可を得て財団法人ロータリアン米山記念奨学会となり、また、新公益法人制度の施行に伴い、2012年1月4日をもって公益法人へ移行しました。ロータリアン米山記念奨学金はすべて、日本のロータリアンからの寄付によって支えられています。

2 奉仕の人「米山梅吉」

米山奨学事業の記念の称号を付した米山梅吉氏（1868－1946）は、幼少にして父と死別し、母の手一つで育てられました。16歳の時、静岡県長の泉町から上京し、働きながら勉学に励みました。20歳で米国へ渡り、ベルモント・アカデミー（カリフォルニア州）ウェスレアン大学（オハイオ州）、シラキュース大学（ニューヨーク州）で8年間の苦学の留学生活を送りました。

帰国後、文筆家を志して勝海舟に師事しますが友人の薦めで三井銀行に入社し常務取締役となり、その後、三井信託株式会社を創立し取締役社長に就任しました。信託業法が制定されるといち早く信託会社を設立して、新分野を開拓し、その目的を“社会への貢献”とするなど、今日のフィランソロピー（Philanthropy）*の基盤を作りました。晩年は財団法人三井報恩会の理事長となり、ハンセン病・結核・癌研究の助成など多くの社会事業・医療事業に奉仕しました。

また、子どもの教育のために、はる夫人と共に私財を投じて小学校を創立しました。“何事も人々からしてほしいと望むことは人々にもその通りせよ”これは米山梅吉氏の願いでもありご自身の生涯そのものでした。“他人への思いやりと助け合い”の精神を身をもって行いつつ、そのことについて多くを語らない陰徳の人でした。

3 世界の平和を願って

敗戦後の復興が続く1952年、東京ロータリークラブの会員によって「米山基金設立」の構想が立てられました。そして、世界に“平和日本”の理解を促すことを願って募金が始められました。このようにして、東京ロータリークラブから始まった事業は、その後日本国内全クラブの合同事業として発展しました。

「1カ月に1箱のタバコ代を節約して奨学金に」という合言葉から始まった米山奨学事業は、設立以来、累計で奨学金支給者数21,000人を超え、国籍別では129の国と地域となりました。

* Philanthropy: 語源はギリシャ語の「フィラン（愛）」と「アンソロポス（人類）」から由来している。
人類愛・博愛などと訳され、今日では「社会貢献」と訳される。

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会

2020 学年度ロータリー米山記念奨学生申込書

※Family name (姓) と First name (名) を区別しない氏名の場合は全て Family name (姓) の枠にご記入ください。(マレーシア、インドネシア、ミャンマー等の方はご注意ください)			
氏名	Family name (姓)	First name (名)	Middle name
	英文 (English)	英文 (English)	英文 (English)
	漢字 (中国・韓国・台湾は必須)	漢字 (中国・韓国・台湾は必須)	
	カタカナ	カタカナ	カタカナ
性別	<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女	生年月日 年 月 日 (歳)	国籍・地域 <small>注1</small>
出生地	※中国籍の方のみパスポート記載の出生地をご記入ください。 省区市	在留資格 <small>注2</small> <input type="checkbox"/> 留学 <input type="checkbox"/> その他()	
2020年4月からの在籍予定校と学年 ※連合大学院の場合は、通学している学校	学校名	大学以外	<input type="checkbox"/> 短大・高専・専修学校 ()年 <input type="checkbox"/> 高専専攻科()年 <input type="checkbox"/> 専修学校高度専門士課程()年 <input type="checkbox"/> その他
	学部・研究科	学部	<input type="checkbox"/> 学部()年→4年制の課程。医学系で4年制もこちら。 <input type="checkbox"/> 医・歯・獣・薬学部()年→6年制の課程
	学科・専攻	修士	<small>注3</small> <input type="checkbox"/> 修士()年
		博士	<small>注3</small> <input type="checkbox"/> 博士()年→3年制の課程。医学系で3年制もこちら。 <input type="checkbox"/> 医・歯・獣・薬学博士()年→4年制の課程
入学月	月入学	2020年4月在籍予定校に編入学予定ですか？既に在籍、あるいは、修士・高専専攻科入学予定の方は「いいえ」にチェックを入れてください。	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
卒業予定年月	年 月		
2019年10月現在、博士の学位を取得していますか？ <input type="checkbox"/> はい (博士号名称:) <input type="checkbox"/> いいえ			
米山奨学金を受給したことがありますか？ <input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ			
右記に該当する場合にチェックを入れてください。	<input type="checkbox"/> 修士修業年限3年制 <input type="checkbox"/> 専門職大学院 <input type="checkbox"/> 法科大学院		
連合大学院在籍者は在学証明書が発行される学校(基幹校)名を記入してください。	連合大学院名		

注1) 国籍・地域：台湾の場合は、在留カードに表示される国籍・地域が中国であっても台湾とご記入ください。
 注2) 在留資格：申込み時点で「留学」、「難民」(地区奨励は「留学」「難民」「研修」「文化活動」)でなくても、翌年3月25日までに在留資格を変更し「在留カード(PDF)」を提出する予定であれば申込みは可能です。現在の在留資格をご記入ください。
 注3) 2020年4月在籍予定校：博士課程一貫制の制度を設けている学校は、博士課程前期を「修士」、後期を「博士」と記入。

経歴書

申込番号 (学校担当者記入：専用 WEB 画面参照)

20RY

氏名漢字 (漢字名がある者のみ、公的に使用している漢字を記入)		英文氏名 英語の敬称 (Mr./Ms.) が付いた時の英文氏名を記入してください。奨学会が発行する、英文証明書の氏名順を確認するためご記入いただきます。	
		Mr./Ms.	
現住所	〒 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> - <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>		
携帯電話 (ない場合は自宅電話)	- -		
E-mail アドレス	@		
母国住所 (英文または漢字/ 郵便番号、国名含む)			

注：高等学校・高等専門学校入学から 2019 年 10 月に至るまでの学歴を記入すること。日本語学校在籍、研究生の期間についても記入。高等学校を卒業せず大学検定合格等の場合は、試験名と合格年月日を記入。

学 歴	期 間	学校名 ※高専や大学 (院) の場合は学部・研究科/学科・専攻/課程などを記入。 (例：米山大学 文学研究科 日本文学専攻 博士課程)	キャンパス所在国
	年 月 入学 年 月 卒業		
	年 月 入学 年 月 卒業		
	年 月 入学 年 月 卒業		
	年 月 入学 年 月 卒業		
	年 月 入学 年 月 卒業		
	年 月 入学 年 月 卒業		
	年 月 入学 年 月 卒業		
	年 月 入学 年 月 卒業		
	年 月 入学 2019 年 10 月 現在		

学校担当者の方へ

上記「申込番号 (学校担当者記入)」は、専用 WEB 画面にて申込書内容を登録時に付与される「申込番号」となります。学校担当者が転記してください。当用紙と以下提出書類 (経歴書 2/3、3/3、指導教員からの推薦状、研究計画書、小論文他) はアップロード用に PDF 化する前に必ずご記入ください。

氏名 (日本語表記。漢字圏の方は漢字、それ以外はカタカナ)	申込番号 (学校担当者記入) 20RY
-------------------------------	-------------------------------

2020年4月の在籍校と学年	2020年4月在籍の学校名	通学キャンパス所在地 (都道府県・市区町)
		都道 府県
	2020年4月の課程・学年	市区郡
	学部 () 年 修士 () 年 博士 () 年 高専専攻科 () 年 専修学校高度専門士課程 () 年 その他 () () 年	2020年4月在籍校の入学 or 編入学・卒業予定
		年 月 入学
		年 月 () 年次に編入学
		年 月 卒業予定

上記学校在籍中、休学した場合は以下をご記入ください。

休学期間 年 月 ~ 年 月	休学理由：
復学年月 年 月	
復学した課程・学年 (課程に○を記入し、括弧内に学年をご記入ください) 学部・修士・博士・その他 () 年生	

上記学校在籍中、留年した場合は以下にご記入ください。

留年した年月 年 月	留年理由：
留年により重複した課程・学年 (課程に○を記入し、括弧内に学年をご記入ください) 学部・修士・博士・その他 () 年生	

職歴 (兵役を含む)	勤務先	所在地 (国・都市名)	職務内容	勤務期間
				年 月 ~ 年 月
				年 月 ~ 年 月
				年 月 ~ 年 月
				年 月 ~ 年 月
				年 月 ~ 年 月

奨学期間予定中に、日本を3ヵ月以上離れる予定、もしくは休学予定はありますか？	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ ↓ 出国 ・ 休学 (該当するものに○をご記入ください) 期間： 年 月 日 ~ 年 月 日 理由：
--	---

氏名 (日本語表記。漢字圏の方は漢字、それ以外はカタカナ)	申込番号 (学校担当者記入) 20RY
-------------------------------	-------------------------------

(注)2019年10月の状況を記入

右記情報は、合格後、世話クラブへの参考資料とさせていただきます。選考には関係ありません。	収入	2019年10月現在 受給中の奨学金		<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 名称 /月額 円/期間 年 月まで ※他奨学金受給中も当会奨学金に申込みことができます。ただし、当会の奨学金に合格後、二重受給になる場合はどちらの奨学金を受給するかを選択していただきます。		
		仕送り		<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (仕送り人続柄:) 月額 円		
		アルバイトなどの給与		複数の場合は複数の内容を記入し月額は合計額 (内容:) 月額 円		
		その他		(内容:) 月額 円		
	日本に在留する親・配偶者の収入	奨学金(名称:)		(期間: 年 月 ~ 年 月) 月額 円		
		その他収入		(内容:) 月額 円		
	家賃 (アパート・寮・その他)	月額 円	授業料 (入学金、施設費等は含まない)	2019年10月現在 年額 円		
				上記の内自己負担額 円		
	全額免除されている場合は、自己負担額を0と記入し、減免されている場合は自己負担のみの額。現在、減免申請をされていて結果がまだわからない場合は減免無しでの額を記入					
	①～⑤は必ず記入すること。該当しない場合は「なし」と記入すること。					
氏名	続柄	年齢	国籍	現住所(国・都市名のみ)	勤務先・在学名	備考
	① 配偶者					
	② 子供					
	③ 父					
	④ 母					
	⑤ 兄弟姉妹					

(注)家族の中に以下に該当する者がいる場合、備考欄に必ず記入すること。

- ・過去に米山奨学生であった者(奨学金種類・奨学期間)
- ・現在、米山奨学生である者(奨学金種類・奨学期間)
- ・米山奨学金申込み予定者(米山奨学金申込み・在籍大学)
- ・親、配偶者が日本に在留する場合(在留資格)
- ・国費奨学金あるいは他の奨学金受給者(奨学金名・月額奨学金・奨学期間)
- ・死亡した者については、氏名・国籍を記入し、備考欄に死亡と記入

